

I 災害の概況と対策

1 概況

2 災害対策の促進

I 災害の概況と対策

1 概況

平成29年は5月から7月にかけての梅雨前線豪雨，8月の台風5号，10月の台風22号など，21回の異常気象により災害が発生した。

国土交通省所管公共土木施設災害の査定決定額は，県工事で77箇所1,627,302千円，市町村工事で92箇所1,203,722千円，合計で169箇所2,831,024千円であった。

異常気象別では，8月3日から8月7日にかけての台風5号が最も大きく50件，1,187,368千円で全体査定額の約42%であった。次が，9月4日の豪雨で，313,074千円（11.06%），10月27日から10月29日にかけての台風22号で，291,086千円（10.28%）であった。これら3つの異常気象の査定決定額合計が，全体の63%を占めた。

「8月4日から8月8日までの暴風雨(台風第5号)」による災害については，局地激甚災害に指定され，2村が特別の財政援助を受けた。

指定された市町村は次のとおり。

局激 H29/8/ 4 ～ 8/ 8 大和村，宇検村

2 災害対策の促進

(1) 災害復旧事業

災害復旧事業は，3ヵ年で全箇所の復旧工事を完了するように予算措置が講じられるものであり，平成29年度復旧進捗は決定箇所数において87.0%の147箇所が完成した。

(2) 河川等災害関連事業

災害復旧に当たり，改良費を加え未災箇所も含めて改良復旧を行うことにより事業の効果をより大きくするための事業であるが，平成29年は該当がなかった。